

平成30年度事業計画について

I 包括ケア体制の基盤整備

地域包括ケアシステムの中核機関として地域包括支援センターの機能強化へむけて包括的支援事業と介護予防事業・日常生活支援総合事業を行う。

1 総合相談業務

地域の高齢者及び家族からの相談に対して、どのような支援が必要か判断し、在宅介護支援センターと協力しながら必要な支援を行う。

高齢者の心身の状況や家庭環境等の実態把握を行う。

2 権利擁護業務

東濃成年後見センターと連携し、制度の支援を行う。巡回相談を毎月開催する。

高齢者虐待防止法の施行により、高齢者の虐待の早期発見と適切な保護及び養護者への支援を行う。

・高齢者虐待防止事業

高齢者の虐待を防止するための取り組みとして、虐待ケースへの早期対応や虐待予防のための研修・会議を開催する。

	取 り 組 み 内 容	開催回数等
虐待防止ネットワーク コーディネーター	関係専門機関介入支援ネットワーク会議 恵那医師会、中津川警察署、恵那保健所、恵那県事務所福祉課、東濃成年後見センター、法テラス	1回
	保健医療福祉サービス介入ネットワーク会議 ケアマネジャー、訪問介護・訪問看護事業者、デイサービス・ショートステイ事業者、養護老人ホーム事業者、特別養護老人ホーム事業者、医師・ソーシャルワーカー、在宅介護支援センター、健康医療課、介護保険室	1回
	地域支援ネットワーク会議 地域の虐待防止見守り関係者の連携を図る。 (※認知症見守り、地域包括・在宅介護支援センター懇話会兼ねる) 各地域包括・在宅介護支援センターにて開催。	13回
虐待防止の 取り組み	認知症高齢者対策・高齢者虐待防止講演会 講 師：名古屋市認知症相談支援センター 鬼頭氏 名古屋市在住 山田真由美さん 対象者：一般市民、関係機関担当者	1回 10月31日(水) 健康福祉会館
	高齢者虐待防止研修会 講 師：のぞみの丘ホスピタル地域支援部長 臼井潤一朗先生 対象者：関係機関担当者	2回 7、12月

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

	取 り 組 み 内 容	開催回数等
ケアマネジャー 支援	ケアマネ部会の開催 利用者の自立支援のため多職種連携の研修会を実施	11回
主任ケアマネジ ャーとの連携	地域包括支援センターと主任ケアマネジャーとの連携 会議を実施	10回

4 地域ケア会議の推進

(1) 地域ケア個別会議の開催機能の充実を図る

多職種が協働して、個別ケースのケアマネジメント力を高め、ケアマネジャーの自立支援型プランを支援する。また自立を阻害している地域課題を把握する。

- 取組内容 ①各地域包括支援センターで地域ケア個別会議を実施
②研修会の開催

5 在宅医療・介護連携の推進

医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進することにより、在宅医療を必要とする高齢者等が安心して在宅で過ごすことができることを目的とし、在宅医療介護連携推進事業として以下の取り組みを行う。

取組内容
① 地域の医療・介護の資源の把握 ・地域在宅医療ガイドブックの情報更新
② 在宅医療・介護連携推進会議の開催 ・在宅医療・介護の課題抽出と対応策の検討 ・切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ・医療・介護関係者の情報共有ツールの検討
③ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 ・地域の医療・介護関係者等からの在宅医療介護連携に関する相談に応じる窓口「在宅医療・介護連携支援センター」の充実 ・歯科医師会との連携により在宅歯科医療の相談窓口としての「在宅歯科医療連携室」の設置
④ 医療・介護関係者の研修会の開催 ・他の事業とも連動して、医療介護関係者による多職種連携等の研修を実施
⑤ 地域住民への普及啓発 ・在宅医療・介護シンポジウムへの参加協力
⑥ 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 ・恵那市との連絡会議の実施 ・東濃圏域での在宅医療・介護連携推進研究会への参加

6 認知症まもりの「わ」事業（認知症施策の推進）

認知症対策ネットワーク及び普及啓発等

	取 り 組 み 内 容	
認知症を支える ネットワークづくり	地域支援ネットワーク会議 （*虐待防止を兼ねる） 各地区の支援センターにて各1回開催し、地域の見守り関係者との連携を図る。	13回
	認知症コーディネーター会議 医療、福祉、地域の専門分野の連携を図る。	1回
	支え合いマップづくりの実施 地域でのマップづくり推進のため、モデル地区以外へ拡大。 講演会の開催 地域の支え合い活動を普及する。	講演会 1回 要望のある地区への支援
	みまもりガイド（地域資源マップ）の普及 関係機関を通じたケアパス（状態に応じた適切な医療や介護サービスなどの提供の流れ）の普及。	
普及啓発 家族支援	認知症サポーターの養成 出前講座にて認知症の方の正しい理解と接し方を学ぶ。	学校や各団体で開催促進
	もの忘れ相談	月1回
	認知症初期集中支援推進事業 認知症初期集中支援チームによる支援	
	認知症家族の会	全地区で開催
	若年性認知症家族の会	年4回
	認知症カフェ『あったカフェ』 中央公民館及び各地域包括支援センター地域で開催 中津川商工会議所との連携	年13回
	健康福祉まつりでの啓発 「認知症高齢者の接し方」をテーマした寸劇を実施 オレンジ委員会（支援センター部会）による活動	10月14日

7 生活支援サービスの体制整備

第一層（市全域）と第二層（15地区）の生活支援コーディネーターと各地域の協議体との連携により生活支援の体制整備の取組みを行う。

取組内容
① 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等 ・地域ごとの生活支援・介護予防サービスに資するサービス提供状況を把握 ・地域ごとの高齢者の生活支援ニーズの把握 ・把握した情報により地域に不足するサービスの創出 ・関係者間のネットワークの構築
② サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成講座の実施
③ 第1層及び第2層の協議体会議の実施（15地区で実施）

8 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援認定者の介護保険給付事業の一部が市の総合事業に移行し、要支援者等の能力を最大限活かしつつ、訪問型・通所型サービスと住民等が参画する多様な生活支援サービスを総合的に提供する。

(1) 一般介護予防事業

	取 り 組 み 内 容	開催回数等
介護 予 防 普 及 啓 発	集中型一般介護予防事業（あんきなくらぶ） 市内各地域で実施。閉じこもり予防として週1回通所	31 教室で実施
	脳イキキ教室 6月～12月（週1回） 簡単な読み・書きや計算の学習で脳のトレーニングを実施。 学習サポーターを募集	老人福祉センターにて開催
	地域包括及び在宅介護支援センターによる介護予防教室 各支援センターで企画、開催。	各月3回程度
	各地域での運動教室の実施 ・水中運動体験・出前講座（『コグニサイズ』の普及）等	
	訪問型介護予防事業 ・低栄養、口腔機能低下等を対象。栄養士・歯科衛生士による訪問。 ・ぎふ・すこやか口腔健診受診者に対する事後フォローを実施。	
	通所型介護予防事業（運動機能向上教室：通称 元気アップ教室） 運動機能向上の他、口腔・栄養改善等も内容に取り入れ実施。	週1回 3ヶ月間実施 4会場で開催。
動 支 援 事 業 地 域 介 護 予 防 活	介護予防従事者研修 介護予防従事者を対象に知識・技術の向上のための研修。	7～10月 年4回
	介護予防サポーター養成講座の開催 介護予防に関わるボランティア等の人材育成のための講座	1～3月開催
動 支 援 事 業 テ レ 地 域 リ ハ ビ リ 活	介護予防教室等への理学療法士の活用・支援 介護予防教室等に、理学療法士を派遣し、参加者自身の取り組みを支援する。	年間27回

(2) 介護予防・生活支援サービス事業

- ・要支援1・2の認定者へ訪問型及び通所型サービス（介護予防相当サービス）の継続的な提供と、利用者が適切にサービスを利用できるよう介護予防支援（介護予防ケアマネジメント）を実施する。
- ・基準緩和サービス等の実施に向けて、調査・実施検討を行う。

要支援認定者のサービス利用状況	H30.3月件数
ア. 通所型・訪問型サービスのみの利用者	261件
イ. 予防給付サービスの利用者（ア以外のサービス利用者）	423件
ウ. サービス未利用者	223件

平成 30 年度 中津川市北部地域包括支援センター 事業計画

1. 総合相談支援業務

事業目的	独居、高齢世帯等地域の要援護者の状況について訪問等により、困りごとや地域のニーズを把握する。
事業目標	① 個別ニーズや地域ニーズから課題を明らかにし、サービスにつなげるよう支援する。 ② 資源開発につなげる
対象者（重点）	独居、高齢者帯及び虚弱等ニーズが高いと思われる方を優先的に訪問
年間相談訪問件数	訪問件数 1440件
年間取り組み計画	民生委員や各関係機関からの協力を仰ぎながら訪問する。

2. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

事業目的	個別ケースの課題分析を通して地域課題を発見し、地域に必要な資源開発につなげる
事業目標	多職種による専門的視点を交えて検討する。 地域作り、社会資源の開発につなげる
活動内容（重点）	地域ケア個別会議
年間開催回数	15回
年間取り組み計画	・6月以降に各地区で開催。 ・ケアマネジャーへの周知の場を開催する。 ・専門職の協力を得て開催する。

3. 介護予防事業

事業目的	地域で暮らす高齢者の閉じこもりを予防し、介護予防力を身に付けてもらうための方法を提供する。
事業目標	地域の高齢者の介護予防力を高め、要介護状態となることを防ぐ
対象者（重点）	65歳以上の高齢者（閉じこもりの可能性のある方）
年間開催回数	「介護予防教室」 各地域 36回
年間取り組み計画	支援センター便り、広報無線、店舗の協力を得て周知・参加募集する。内容は、日常生活の中で継続して取り組める、健康体操、音楽療法、料理教室、口腔衛生に関すること。

4. その他（ 蛭川地区ネットワーク会議 ）

事業目的	地域住民が住み慣れた地域で生活が続けられるよう、ニーズや課題を地域の中で解決していける仕組みづくりや地域包括ケアシステムの構築の実現を支援していく。
事業目標	地域の方が課題をだし、暮らしやすい地域作りのために必要な資源の発掘が出来るよう、住民主体の支援を行う。
対象者（重点）	蛭川地区 関係団体
年間開催回数	「ネットワーク会議(本会議)」年2回・「事務局会議」適宜
年間取り組み計画	・事務局会議：各団体から出た課題を共有、課題を明確にし、解決に向けた方向性を決める。 ・本会議：各団体の活動を知り、各団体の役割を明確にしていく。

平成 30 年度 中津川市ゆうらく苑地域包括支援センター 事業計画

1. 総合相談支援業務

事業目的	地域の高齢者の心身状況や家庭環境等についての実態把握
事業目標	隠れた問題やニーズを発見し早期対応、必要な機関や制度・社会資源へ繋げていく
対象者（重点）	独居・高齢世帯、要援護世帯を中心に実態把握訪問
年間相談・訪問件数	月 30 件以上
年間取り組み計画	毎月の訪問数に計画性を持ち実態把握を行い、地域課題の分析を行う。

2. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

事業目的	個別ケースを通じて地域課題、地域づくり、社会資源の開発、政策形成へ繋げていくため会議を開催する
事業目標	担当地域の利用者を支援するケアマネジャーを対象として会議を開催
活動内容（重点）	地域ケア個別会議
年間開催回数	全 3 回
年間取り組み計画	6 月・10 月・2 月ケース会議を開催

事業目的	担当地区内の事業所に所属するケアマネジャーの勉強会・交流会を通じてスキルアップを図り利用者への支援につなげていく。
事業目標	課題や悩みの共有、勉強会、地域活動を通じ個々のレベルアップを図り、地域づくりの視点を持ち地域課題やニーズを共有し事業に活かす。
対象者（重点）	けあまねカフェ事業
年間開催回数	全 4 回
年間取り組み計画	施設見学、介護保険改正に伴う勉強会、事例検討、医療との連携

3. 介護予防事業

事業目的	介護保険を利用せず生活していけるよう予防に対する意識付けを行う
事業目標	定期的に集まることができ、介護予防になる場所作り
対象者（重点）	① 落合・瀬戸地区 65 歳以上②神坂地区 65 歳以上③65 歳以上の男性
年間開催回数	「よってこまい」12 回・「やっとかめ」12 回・「男の学びの場」12 回
年間取り組み計画	① ②健康体操、認知症の勉強会、脳活性化レク等 介護予防に重点をおき開催。 ② 栄養士指導のもと低栄養改善や食べる喜び、四季の食材を楽しむ(調理)。

4. その他（認知症家族の会）

事業目的	介護者の孤立防止
事業目標	介護家族が日頃のストレスを解消し、交流会や勉強会を通じて同じ境遇同士の仲間作りができる
対象者（重点）	介護をしている方
年間開催回数	全 3 回
年間取り組み計画	8 月認知症カフェと共催、11 月、3 月 利用者に関わりのある管外のケアマネジャーにも PR する。

平成 30 年度 中津川市シクラメン地域包括支援センター 事業計画

1. 総合相談支援業務

事業目的	支援が必要な高齢者等を把握するとともに、地域ごとの課題やニーズを把握する。
事業目標	個別ニーズの把握、地域ニーズの把握、把握したニーズを事業や市へつなげる。
対象者（重点）	独居・高齢世帯、各関係機関から相談のあったケース等
年間相談・訪問件数	約 200 件
年間取り組み計画	計画的、継続的な実態把握を行い定期的に状態確認する

2. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

事業目的	個別ケースの支援内容の検討を通じ、①地域のケアマネジャーに向けた、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援を行う②地域包括支援ネットワークの構築 ③地域課題の把握
事業目標	ケアマネジャー、地域関係機関等との連携、情報交換・共有を図る
活動内容（重点）	地域ケア個別会議
年間開催回数	3 回
年間取り組み計画	自立支援に向けたケース、支援困難ケース、その他会議が必要と思われるケース等に対し会議を随時開催

3. 介護予防事業

事業目的	地域で集まる機会の確保及び介護予防への意識の醸成を図り、地域高齢者の認知症予防、介護予防を進める
事業目標	地域住民の自主的な開催への移行を図る
対象者（重点）	地域高齢者
年間開催回数	「曙会」6 回・「長寿会」4 回・「寿会」4 回・「小地域」12 回・「じいばあ」12 回
年間取り組み計画	定期開催事業については役割分担を進め自主化に向け支援し、他地域については、自主開催の支援やサロンの立ち上げの支援等を行う。

4. その他（阿木地域包括支援ネットワーク会議の取り組み）

事業目的	地域の福祉力を高める事、地域のニーズに触れる機会を持つ事を通じ、地域に合ったより具体的な地域包括ケアシステムを探る。
事業目標	地域の強みや課題を共有し、課題解決に向け取り組みを行う
対象者（重点）	地域関係機関 26 団体
年間開催回数	・「ネットワーク会議」年間 2 回予定・「事務局会議等」随時開催
年間取り組み計画	今後の重点課題について各団体で取り組む

平成 30 年度 中津川市瀬戸の里地域包括支援センター 事業計画

1. 総合相談支援業務

事業目的	地域の高齢者が安心して生活できるように様々な相談を受け止め、相談内容に対して適切な機関やサービスにつなげられるよう支援する。
事業目標	実態把握を行うことで早期に高齢者のニーズ、課題を発見し適切な対応が取れるようにする。
対象者（重点）	独居・高齢世帯、要援護世帯を中心に実態把握訪問を行う
年間相談・訪問件数	年間 360 件以上
年間取り組み計画	70 歳以上の独居、夫婦どちらかが 75 歳以上の高齢世帯への訪問

2. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

事業目的	自立した生活が継続できるようケアマネジャーと連携をとり、地域ケア会議の場において、地域課題の発見、社会資源の開発を行う。
事業目標	ケアマネジャーと顔の見える関係を構築し、地域包括支援ネットワークを充実させる。
活動内容（重点）	地域ケア個別会議
年間開催回数	年 5 回
年間取り組み計画	ケアマネジャーとの交流会(2回)、事例検討会(10月、12月、2月)

3. 介護予防事業

事業目的	① 地域住民が介護予防に関心を持つ。外出を促し他者との交流の場を提供する。 ② 孤立を防ぎ介護予防に関心を持つ。外出を促し人との交流の場を提供する。
事業目標	参加者が介護予防に対する意識を持つ、そこから啓蒙に繋げる。継続参加を促す。
対象者（重点）	① 主に 65 歳以上の住民(各地区) ② 1 人暮らしの方。自立の方で閉じこもり傾向の方
年間開催回数	① 年 31 回(各地域 2 回程予定)・②毎月 1 回(年 12 回)
年間取り組み計画	① 介護予防を目的に健康体操、脳トレ等 ② 介護予防を目的に参加者と相談し内容を検討。健康体操、脳トレ等

4. その他（認知症家族の会）

事業目的	介護者が同じ立場で悩みや思い・困り事を話せ、共有できる場の提供
事業目標	定期的な開催により、少しでも日頃の介護疲れが軽減できる。仲間作り。
対象者（重点）	認知症の方を介護されている家族の方、当事者。
年間開催回数	年 4 回
年間取り組み計画	家族交流会(うち 1 回は調理実習・食事交流会)